



叙勲

- 旭日小 小綾章
- 綿貴祥一 (日高町日置)
- 瑞宝単光章
- 吉岡忠次朗 (三宅)

危険業務従事者叙勲

- 瑞宝双光章
- 森田 進 (田結)
- 瑞宝単光章
- 藤木 茂 (引野)

**平成26年度社会福祉功労者
厚生労働大臣表彰**

- 萬谷久司 (城崎町桃島)

第69回国民体育大会

- なぎなた競技 成年女子
演技・成年女子団体4位
- 大友希美 (日高町栃本)
- 富士本珠美 (日高町水上)
- 大友さん、富士本さんでチーム兵庫を組みました。
- *17P参照



成年女子は3人全て豊岡出身

- なぎなた競技 少年女子
演技・少年女子団体6位
- 久保田 瞳 (近畿大学附属豊岡高等学校2年)



久保田さん
兵庫県は総合成績5位入賞を果たしました。

月18日～20日、長崎県松浦市
兵庫県自治賞

- 女性活動関係功労
- 小林桂子 (泉町)
- 長坂和枝 (竹野町阿金谷)
- 兵庫県知事表彰 (消防功労)

- 功労章
- 藤原正利 (日高町十戸)
- 永年勤続功労章
- 岡村英則 (泉町)
- 田中秀美 (元町)

- 小崎哲男 (野上)
- 木下正行 (城崎町湯島)
- 土生田尚士 (城崎町湯島)
- 竹中 誠 (日高町松岡)
- 植田 武 (日高町鶴岡)
- 石田安彦 (出石町町分)
- 川崎博道 (出石町日野辺)
- 福富和昭 (出石町桐野)
- 渡邊政仁 (但東町中山)
- 山本陽一 (但東町坂野)

**第63回兵庫県社会福祉大会
知事表彰**

- 優良民間社会福祉団体等表彰
- 豊岡市但東民生委員児童委員協議会
- 社会福祉施設関係功労者表彰
- 上田あゆみ (祥雲寺)
- 中奥真泰 (妙楽寺)
- 田中まゆみ (日撫)
- 宮城美佐子 (氣比)
- 西浦久美子 (加陽)
- 上垣真由美 (竹野町須谷)
- 門岡基博 (伏)

**第7回ちりとてちん杯
全国女性落語大会**

- 第3位 NHK福井放送局 長賞
- 加賀見真美 (日高町久斗)
- 尼乃家河鹿こと加賀見さんは、10月11・12日、福井県小

すくすく日記



本コーナーに出演いただくお子さんを募集しています。対象は市内在住で2歳までの乳幼児。お子さんの写真の裏に氏名(ふりがな)、性別、生年月日、保護者の氏名、住所、電話番号とコメント(40字以内)を添えて、秘書広報課「すくすく日記係」へお送りください。



坂本 いち花ちゃん
(平成25年10月1日生)

いっぱい食べて、いっぱい笑う
いっちゃん！1歳のお誕生日おめでとう♡
(父厚仁・母夏子、但東町平田)



吉谷 優佑ちゃん
(平成24年10月31日生)

食いしん坊でわんぱくな優佑くん。お兄ちゃんに負けず、強く、優しい子になってね！
(父健一・母裕美、出石町森井)



中嶋 千尋ちゃん
(平成24年10月31日生)

2歳の誕生日おめでとう！元気に成長し、笑顔の素敵なたくましい人になってね♡
(父夏樹・母佳子、日高町堀)



高座で
浜市で74人の参加のもと開かれた同大会に出演。決勝進出。

**第18回ボランティア
スピリットアワード**

コミュニケーション賞(関西ブロック)

▽豊岡総合高等学校インターアクトクラブ(1、2年12人)
インターアクトクラブは、さまざまなボランティア活動を行っています。なお「第3回eco1グランプリ」普及・開発部門でも、県2位以上となり、近畿ブロック大会に出場しました。



コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



国体なぎなた競技の代表監督に 初選出され、目標を達成

なぎなたを始めて46年。このほど、オール豊岡の成年女子を率い「国体8位以内」の目標を選手と共に達成した活発な女性を紹介します。

成田登代子なりたとよこさん(57歳)日高町久斗



異種試合(なぎなた対剣道 左が成田さん)



日高小と豊岡小でも毎週指導



国体開催9日前。鋭い声が飛び

6月22日、朗報が届きます。今年の長崎国体のなぎなた競技・成年女子の全3人が豊岡市在住・出身者は初。そして、代表監督を成田登代子さんが務めるのも初めてです。

初監督業の4カ月間

監督就任は想定外だったと成田さんは言います。今年は県予選から国体開催日までの国体強化期間が例年より1カ月近く長かったそう。「国体本番に焦点を合わせるために選手のコンディションの調整がただでさえ難しく、初めての国体監督業に戸惑いも多く、とにかく大変でした」と4カ月間を振り返ります。

高校生を中心に構成する少年、大学・社会人の成年を率いる代表監督。しかも、他県の練習会場の確保や宿泊・切符の手配なども監督の仕事で「こんなことまで歴代の監督はされていたのかと、改めて感謝した次第で…。多くの方々の支えと、しっかりと選手たちに引張られてここまで来られました」としみじみ語ります。

平日は毎日、非常勤講師と

して勤めている近畿大学附属豊岡高等学校で部活動後、国体強化指導に当たります。週末は選手と共に県内外で強化合宿。その繰り返しです。

9月19日、神戸で開かれた結団式で身の引き締まる思いになったといいます。国体の目標は「最低ベスト8。それ以上を目指します」と力強く宣言していました。

結果、成年の試合競技は3回戦で強豪岡山県(今回優勝)に敗れましたが、演技競技の部で4位と健闘。目標を達成しました。

※(おめでとう欄参照)

ひと口メモ



国体強化練習中

演技競技というのは、攻撃側の「しかけ」と防御側の「応じ」の2人で行います。防具を着けずに決められた形を演技。姿勢・服装・態度・発声・呼吸と、気持ちが調和しているかを5人の審判が判定します。

試合競技は3人1組の対戦です。

「選手」と「審判」指導者と

成田さんは父親の指導する剣道場に小学2年生ごろから通っていました。中学生になり、なぎなたを恩師の故木下寿子先生から習い、初めて出場した大会で優勝したことが喜びとなり、続けたそうです。

但馬で唯一なぎなた部のある高校を選び入部。そのまま38歳まで選手を続け、国体や全日本大会で何度も優勝しました。教士の称号を取得すると同時に後進に道を譲り、初めて審判を務めたとき「一抹の寂しさを感じた」と思っています。

好きな言葉は「一技万練」(一つの技を何度も何度も練習して自分のものにすること)。

趣味は「特にないんです。あえて言えば、おいしいものを食べて温泉に浸かって…」。

国体が終わりに行きますねと尋ねると「はい。さっそく行ってきました(笑)」。

ただし、なぎなたにはシーズンオフがなく、まだまだこれからも忙しい日々が続くそうです。